

基礎病理

責任者名：浅野 正岳

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

◆担当教員

浅野 正岳(病理学 教授)

井出 文雄(病理学 兼任講師)

角田 麻里子(病理学 助教)

福井 怜(病理学 助教)

山本 安希子(病理学 助教)

◆一般目標 (GIO)

病理学は基礎医学と臨床医学を結びつける重要な学問である。臨床医として適格な診断を下すためには是非とも身に着けるべき知識となる、病気の原因を追究し、重症度を判定する力を養い、臨床に応用できる知識を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

- ①病理学の役割について説明することができる。
- ②炎症、循環障害、代謝障害について説明することができる。
- ③腫瘍、感染症について説明することができる。

◆評価方法

成績はレポートで評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
浅野 正岳	水曜日 17:00～18:00 1号館2階209教室	asano.masatake@nihon-u.ac.jp	メールにて対応
井出 文雄	講義終了後に対応する		
角田 麻里子	水曜日 17:00～18:00 1号館2階220教室	ootsu.mariko@nihon-u.ac.jp	メールにて対応
福井 怜	水曜日 17:00～18:00 1号館2階220教室	tooyama.rei@nihon-u.ac.jp	メールにて対応

◆授業の方法

指定した教科書のどこに何が記載されているのかを明確に示しつつ、板書、スライドを併用してオンラインで授業

を進める。また、必要に応じてプリントを配布し、理解を深めさせる。

【実務経験】

浅野正岳：30年以上にわたって病理診断業務に携わってきた経験を活かし、口腔病理の理解のために必要な病理学総論について講義する。

井出文雄：歯科医師としての豊富な臨床経験を活かし、臨床における病理学の重要性について講義する。

角田麻里子：臨床系大学院を修了した経験から、歯科臨床における病理学の重要性について講義する。

福井怜：全身の病理組織診断に携わってきた経験から、病理学総論の重要性について講義する。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	標準病理学 第6版	坂本穆彦 ほか	医学書院	2019
参考書1	新口腔病理学 第2版	下野正基 ほか	医歯薬出版	2018
参考書2	病理学総論にもとづく口腔病理学 第2版	井上孝 ほか	永末書店	2018

◆DP・CP

・DP3

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的思考ができる。

・CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書・参考書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

特に、27、28回の内容については参考書1（p323～340）で予習しておくこと。

◆準備学習時間

各々講義時間相当を充てて授業内容の予習・復習（60分×2）を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

基礎病理実習（3年前期）

臨床口腔病理（3年後期）

臨床口腔病理実習（3年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.14	3	1. 序論 1)健康と病気 2)病理学の役割	・病理学とはなにかについて説明できる。 ・健康と病気の違いについて説明で	浅野 正岳	C-5-1) 病因論と先天異常

				3)病因論 (教) pp.3-7	きる。 ・病理学の歴史を説明できる。 ・病気と病因論について説明できる。		
2		5.14	4	2. 細胞の損傷 1 1)可逆的・不可逆的損傷 2)障害の原因 3)障害の形態変化 (1)変性 (教) pp.12-16	・細胞損傷の定義を説明できる。 ・種々の細胞損傷について説明できる。 ・細胞損傷の原因について説明できる。 ・変性のメカニズムについて学修し、細胞形態の変化について説明できる。	角田 麻里子	C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮
3		5.21	3	3. 炎症 1 1)炎症とは (1)定義 (2)原因 (3)プロセス (教) pp.31-33	・炎症の定義を説明できる。 ・炎症の物理的, 化学的, 生物学的原因について説明できる。 ・炎症のメカニズムについて説明できる。	浅野 正岳	C-5-5) 炎症
4		5.21	4	3. 炎症 2 2)炎症の細胞 (1)浸潤細胞の種類 (2)ケミカルメディエーター (教) pp.31-33	・炎症性細胞の種類について説明できる。 ・種々のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・ケミカルメディエーターの作用について説明できる。	浅野 正岳	C5-5) 炎症
5		5.28	3	4. 循環障害 1 1)循環系の構造と機能 2)水腫 3)充血とうっ血 4)出血 5)血栓症 6)塞栓症 (教) pp.161-176	・循環系の種類と構造について説明できる。 ・循環系の機能について説明できる。 ・水腫, 充血, うっ血などの基礎について説明できる。 ・出血とは何かについて説明できる。 ・血栓および血栓症について説明できる。 ・塞栓および塞栓症について学修し、血栓との関係について説明できる。	浅野 正岳	C-5-4) 循環障害

6	5.28	4	4. 循環障害 2 7)梗塞 8)ショック 9)側副循環 10)高血圧・低血圧 (教) pp.176-188	<ul style="list-style-type: none"> ・梗塞について説明できる。 ・抜歯との関連で重要なショックについて説明できる。 ・側副循環の意味とそれに伴う病変について説明できる。 ・高血圧・低血圧の機序について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-4) 循環障害
7	6.4	3	4. 循環障害 3 11)貧血 (教) pp.282-284	<ul style="list-style-type: none"> ・貧血の機序について説明できる。 ・貧血の種類, 貧血に関連した病変について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-4) 循環障害
8	6.4	4	5. 代謝障害 1 1)糖代謝異常 (1)糖代謝の概要 (2)糖尿病 (教) pp.127-135	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝障害の概念について説明できる。 ・糖代謝の概要と糖尿病の発症について説明できる。 ・糖尿病と関連した病変について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮
9	6.11	3	5. 代謝障害 2 2)脂質代謝障害 (1)中性脂肪の代謝異常 (2)動脈硬化 (3)メタボリック症候群 (教) pp.135-145	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質代謝について説明できる。 ・脂質の種類と疾患について説明できる。 ・動脈硬化の機序について説明できる。 ・メタボリック症候群の概念について説明できる。 ・メタボリック症候群と歯周病の関連について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮
10	6.11	4	5. 代謝障害 3 3)色素代謝異常 4)無機物代謝障害 (教) pp.176-183	<ul style="list-style-type: none"> ・色素の種類について説明できる。 ・無機物の種類について説明できる。 ・歯科との関連の深い重金属の代謝障害について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮
11	6.18	3	6. 腫瘍 1 1)定義 2)分類 (教) pp.227-234	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の概念を理解する。 ・腫瘍の定義を説明できる。 ・腫瘍の分類について理解し, その種類を説明できる。 	浅野 正岳	C-5-6) 腫瘍

12		6.18	4	6. 腫瘍 2 3)異型性 4)癌の広がり方 5)進行度 (教) pp.234-241	<ul style="list-style-type: none"> ・異型性の概念を説明できる。 ・腫瘍の広がり方について説明できる。 ・腫瘍の進行度について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-6) 腫瘍
13		6.25	3	6. 腫瘍 3 6)腫瘍の生物学 (教) pp.250-258	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍細胞の生物学的特性について説明できる。 ・腫瘍細胞の増殖と腫瘍の成長を説明できる。 ・転移のメカニズムについて説明できる。 	浅野 正岳	C-5-6) 腫瘍
14		6.25	4	6. 腫瘍 4 7)腫瘍の発生 8)癌遺伝子・抑制遺伝子 (教) pp.258-268	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍発生のメカニズムを説明できる。 ・発癌の多段階学説を説明できる。 ・腫瘍と遺伝子変化との関係を説明できる。 	浅野 正岳	C-5-6) 腫瘍
15		7.2	3	6. 腫瘍 5 9)腫瘍免疫 10)疫学 (教) pp.269-273	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍免疫の考え方を学び、腫瘍の治療法について説明できる。 ・日本人の癌に関する疫学的事項について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-6) 腫瘍
16		7.2	4	6. 腫瘍 6 11) 良性腫瘍と悪性腫瘍 (教) pp.229-234	<ul style="list-style-type: none"> ・良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 	浅野 正岳	C-5-6) 腫瘍
17		7.9	3	6. 腫瘍 7 12) 癌腫 13) 肉腫 (教) pp.229-234, pp.313-322	<ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織由来の悪性腫瘍について説明できる。 ・非上皮性組織由来の悪性腫瘍について説明できる。 	浅野 正岳	C-5-6) 腫瘍
18		7.9	4	7. 白血病 1)骨髄性白血病 2)リンパ性白血病	<ul style="list-style-type: none"> ・白血病の分類と病態について説明できる。 ・骨髄性白血病とリンパ性白血病に 	福井 怜	C-5-6) 腫瘍

				(教) pp.291-302	ついて説明できる。		
19		7.16	3	8. 免疫と疾患 1 1)自然免疫系と獲得免疫系 (教) pp.96-115	・免疫系の自己と非自己を識別するそのメカニズムについて説明できる。 ・自然免疫系と獲得免疫系の種類と関連する細胞について説明できる。	浅野 正岳 山本 安希子	C-4-2) 免疫
20		7.16	4	8. 免疫と疾患 2 2)臓器移植に関連した免疫反応 3)アレルギー (教) pp.116-119	・移植に関連する免疫応答についてそのメカニズムを説明できる。 ・アレルギーの種類とそのメカニズムについて説明できる。	浅野 正岳 山本 安希子	C-4-2) 免疫
21		7.30	3	8. 免疫と疾患 3 4)自己免疫疾患 5)免疫不全症候群 (教) pp.120-135	・免疫学的寛容の基礎について説明できる。 ・自己免疫疾患の種類と発症機序について説明できる。 ・HIV 感染と免疫不全について学修する。	福井 怜	C-4-2) 免疫
22		7.30	4	9. 感染症 1 1)感染経路 2)感染と化膿性炎症 3)日和見感染 (教) pp.63-65	・感染症の定義について説明できる。 ・感染経路の種類について説明できる。 ・歯科における感染と化膿性炎症の位置付けについて説明できる。 ・日和見感染とは何かについて学ぶ。 ・日和見感染と全身疾患について学ぶ。	浅野 正岳	C-4-1) 感染
23		8.6	3	9. 感染症 2 4)ウイルス感染症 5)細菌感染症 (教) pp.66-76	・ウイルスの種類と感染の基礎について説明できる。 ・歯科における細菌感染症の重要性について説明できる。	浅野 正岳	C-4-1) 感染
24		8.6	4	9. 感染症 3	・歯科における真菌感染症の重要性	浅野 正岳	C-4-1) 感染

				6)真菌感染症 (教) pp.66-76	について説明できる。		
25		8.13	3	10. 全身性疾患 1 1)遺伝性疾患 (1)染色体異常による疾患 (2)遺伝子異常による疾患 (教) pp.215-225	・遺伝性疾患とは何かについて説明できる。 ・染色体異常と遺伝子異常の違いについて説明できる。	浅野 正岳	C-5-1) 病因論と先天異常
26		8.13	4	10. 全身疾患 2 2) その他の疾患 (教) pp.215-225	・代表的疾患について学修する。症候群とは何かについて説明できる。 ・代表的症候群の基礎について説明できる。	浅野 正岳	C-5-1) 病因論と先天異常
27		8.20	3	10. 全身疾患 3 3)口腔内に徴候を示す症候群 (参1) pp.341-340	・口腔内症状と症候群との関連について説明できる。	角田 麻里子	C-5-1) 病因論と先天異常
28		8.20	4	11.検査の基本 (参1) pp.323-330	・病理組織検査、細胞診について説明できる。 ・特殊染色、免疫染色について説明できる。	浅野 正岳	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
29		8.27	3	総括 1	授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。	浅野 正岳	
30		8.27	4	総括 2	授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。	浅野 正岳	

